

平成 29 年度第 1 回 成田市まち・ひと・しごと創生推進会議会議録

1 開催日時

平成 29 年 10 月 6 日（金） 午後 1 時 30 分～3 時 00 分

2 開催場所

成田市花崎町 760 番地
成田市役所本庁舎 3 階 第 2 応接室

3 出席者

（委員）

関根座長、宇野澤副座長、小川委員、三邊代理、森竹委員、佐藤委員
木戸委員、大橋委員、宮崎委員、吉高委員、肥田委員、深堀委員

（事務局）

企画政策部 宮田部長
企画政策課 米本課長、西宮課長補佐、平野係長、長野副主査、青菜主任主事

4 議事（要旨）

（1）KPI の進捗状況について

- ・「成田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で設定している数値目標や重要業績評価指標（KPI）等の各種指標の進捗状況及び増減理由等について説明を行った。

（2）中小企業若手人材確保支援事業の成果について

- ・昨年度実施した「中小企業若手人材確保支援事業」の実績報告を行った。

5 質疑等

議題（1）

□「住みごこち満足度」や「定住意向」といった、アンケートを基にした指標が設定されているが、年代別の満足度は分かるか。若い人たちがどのように感じているのかを把握したい。

→総合戦略の策定時に実施したアンケートでは年代別での分析を行っていたが、今回のアンケートでは行っていない。年代別での分析も重要な情報なので、来年度以降のアンケート調査では分析を行うよう検討していく。

□小規模保育施設について、定員割れしている施設が多数あると伺っているが、市として定員割れを解消するような施策を検討しているのか。

→小規模保育施設は市としても必要な施設であると認識しているため、保育園と同等の支援を検討しているところである。また、国家戦略特区を活用して、3歳児以降も小規模保育施設で預かれるような特区制度の導入についても検討を進めている。

□企業誘致を行う上で力を入れている項目は。

→市では企業誘致条例を制定し、条例に則った補助金の交付により企業誘致を推進している。また、国家戦略特区による市内での医学部の開学や附属病院の開院、さらには空港からのアクセスの良さなどを活用し、医療産業の集積についても検討しているところである。

□「雇用の場が確保されていると感じている市民割合」の項目について、成田市の数値は全国的に高い方なのか。

→全国的に同様のアンケートを実施しているのかどうか把握しておらず、比較はできないが、成田市は多くの雇用を生み出す空港を抱えており、市内には航空関係の事業所も数多くある。また、有効求人倍率でも、ハローワーク成田管内は平均よりも高くなっていることから、全国的に見ても雇用の場としては充実しているものと考えられる。

□今年の9月末時点での千葉県の有効求人倍率が1.23倍であった。成田署管内では1.33倍であり、ハローワーク成田管内は常に千葉県平均よりも高い有効求人倍率を保っている。管内の求人は1か月に約1,000件あり、そのうち成田市内の事業所が545件と半分以上を占めている。このようなことから、成田市内には人手不足に悩んでいる事業所が数多くあるのではないかと感じている。

□市内企業は県内だけで人材を確保するのが難しくなり、県外から人材を集めるようになってきている。県外から人を集める場合、寮などを整備する必要があるが、なかなか物件が見つからずに困っている事業所が多くある。そういった事業所へのサポートも今後必要になってくるのではないかと思う。

□コミュニティバスの利用者数の減少の要因は。

→下総ルートが大きく減少している。はっきりした原因は分かっていないが、オンデマンド交通の普及なども関係しているのではないかと考えている。いずれにしても、時間帯の見直しなど、更なる利便性の向上を目指していく。

□オンデマンド交通は土日祝日も利用できるようにならないのか。

→主に高齢者が病院等へ通院する際の交通手段を確保するために実施している事業であることもあり、医療機関が休みの土日祝日は実施していない。来年度は、現状6台の車両で実施しているものを7台に増台する予定である。

また、これからのまちづくりとセットで考える必要があり、今後少子高齢化で人口が減っていくことが想定される中では、コンパクトシティの考え方が重要である。現在、都市部において、地域交通網計画の策定を進めているので、その中で総合的に検討していく。

□出生数や合計特殊出生率が減少しているが、市としてどのような対策をしていくのか。

→来年度から、妊産婦等への切れ目のない支援を行うため、保健福祉館の中に「子育て世代包括支援センター」の開設を検討しているほか、ニュータウン内保育園の大規模改修時の代替保育園として運営していた「赤坂保育園」を、大規模改修終了後も園児の受け入れを継続するなど、子育てしやすい環境の整備を進めていく。

□看護師の確保が非常に難しい。復職支援を含めて、市からもサポートをお願いしたい。

→看護学生に対する奨学金制度を創設しているほか、昨年度からは、看護師の復職支援セミナーなども開催している。しかしながら、医療現場の進歩は本当に早く、一度現場から離れてしまうとなかなか戻るのが難しいというのが現状のようである。そのあたりも含めて、今後も看護師の復職について支援していきたいと考えている。

議題（2）

□効果の確認のしかたについて、合同企業説明会をきっかけに就職が決まった人数などは把握する予定か。

→今年度の事業の中で、昨年度出展していただいた企業に対して追跡調査を行い、実際に内定や就職した人数について把握したいと考えている。